



学校だより

環境を整える

西沢 盛和

本を雑に扱う、もとの棚に戻さない、乱雑に突っ込む、本を置きっぱなしにする等…、子供たちの図書室の使い方はお世辞にもよいといえるものではありませんでした。これまで図書ボランティアの皆さんがその乱雑な状態の本を毎月の活動日に整理し修理し整えてくださっていました。しかし、それをまた子供たちがひと月かけて乱雑にする…、その繰り返しでした。「本はもとの棚に戻す」「本は横にせず立てて並べる」等の指導を繰り返ししても、なかなか子供たちの図書室の使い方は改善されず、私もどうしたものかと考えていました。

しかし、その子供たちがこの3学期からは、言われなくても自分で本をもとの棚のもとの場所に戻したり、丁寧に本を扱う様子が見られたりと、見違えるようなよいマナーで図書室を利用しています。子供たちのこの変化は一体どうしてなのか？

それは図書室の環境にあります。図書ボランティアさんからの意見・要望、そして協力もあり、「学校が本気で図書室環境を改善する」ことにしました。まずは全ての棚の本を整理整頓し、見違えるほどの図書室環境を作り出そうと努力しています。その大きな力となってくれているのが、4月に退職した石原支援員の後任として12月から勤務している石井さん・高橋さんの両支援員です。子供たち・教員たちから「図書室が本当にきれいになった」という声が聞かれます。

そして、きれいに整った本棚は、それを利用する子供の心も整え、マナーを向上させてくれるようです。子供のマナーの悪さを叱ることよりも、大人が環境を整えることこそが、子供のマナーを向上させるということを改めて思い知らされました。

環境を整えることは子供にはできません。大人の責務です。子供の言葉遣いが悪いと叱るよりも、大人が言語環境を整えることを考える必要があります。いじめについても同様です。いじめをしてはいけないと子供を叱るだけでなく、ささいなトラブルがいじめにつながる学校風土・学級環境を整えることがいじめの未然防止につながるのです。

今後とも、子供を叱るだけでなく、環境を整える努力を怠らない教員集団でありたいと強く思います。

2月の行事予定			16	木	新1年生保護者会
1	水	誕生日集会 安全指導 芝生の日 養生始(~28日)	17	金	SC
2	木	ヨーグルト飲料	18	土	
3	金	避難訓練 委員会活動 SC	19	日	
4	土		20	月	全校朝会
5	日		21	火	
6	月	全校朝会	22	水	運動集会 芝生の日 SC
7	火		23	木	ヨーグルト
8	水	音楽集会 芝生の日	24	金	SC
9	木		25	土	
10	金	SC	26	日	
11	土	建国記念の日	27	月	全校朝会
12	日		28	火	SC
13	月	全校朝会 補食 チョコプリン			
14	火				
15	水	ゲーム集会 ヨーグルト			

<生活目標>

担当 星 久美子

○ありがとうの気持ちを表そう。

あいさつが上手な小笠原小学校の子どもたち。同じように、ありがとうの気持ちもごく自然に表現できるようになれるといいですね。

今月の終わりから、6年生の卒業を祝う週間が始まります。6年生と一緒に過ごせるのもあとわずか。これまでお世話になったこと、助けてもらって嬉しかった気持ちを素直に伝えられるよう指導していきます。ご家庭でも、ぜひ意識していただき、ちょっとしたことでもありがとうの気持ちを子供達に伝えていただけますと幸いです。

<安全指導>

担当 岡崎 友美

○自転車のスピードに気をつけよう

島内には坂が多く、勢い良く自転車を走行することでケガをしてしまう場合もあります。

自転車の安全な乗り方については、日常的に学校で指導をしています。ご家庭でもライト・ブレーキ・空気圧など装備の故障がないか定期的な点検をよろしくお願いします。

- ライトは点灯する
- ブレーキは効く
- タイヤの空気圧は足りている



書き初め大会

特活文化的行事担当 志村 佳成江

新年を迎え、12日(木)に「書き初め大会」が開催されました。今年度はインフルエンザ感染予防のため、各教室(人数の都合で3年生のみ体育館)での実施となりました。

1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆で書き初めに取り組みました。1・2年生は手本を見ながら、そっくりに書けるように。3～6年生は、いつもとは違う大きな半紙に、手本のように太く大きく書けるように。静かな空間で、「美しい字を書きたい」という願いを込めながら、鉛筆を、筆を、一画一画ゆっくりじっくり走らせました。真剣に取り組む子供たちの姿によって、いつもと同じ教室・体育館が、良い意味で張りつめた場となっていました。



さて、廊下に展示されていた書き初めはご覧いただけただでしょうか。金銀銅の賞はありますが、どれも一人一人が思いを胸に書いた字です。どうぞ良い所を誉め、より美しい字を書くための目標にして欲しいと思います。



道徳地区公開講座

道徳担当 志村 佳成江

道徳授業地区公開講座 ありがとうございました。

「道徳授業地区公開講座」は、始業時から学校公開を兼ねており、多数の保護者のみなさん、地域の方々にご参観いただき、ありがとうございました。当日の道徳授業は、各担当が「いじめ」に関する内容を取り上げ、発達段階に合わせて授業を行いました。1年生は『はしの上のおおかみ』、2年生は『自分も幸せ 相手も幸せ』、3年生は『生きるということ』、4年生は『「いじめ」と「いじり」』、5年生は『ロレンゾの友達』、6年生は『しらんぷり』という資料から、相手への思いやりや友情、命について考えました。4校時の公開講座では本校校長より、いじめについての認識の混乱がいじめ解決の大きな障壁になっているという話がありました。

さて、本校では6・11・2月の年3回「ふれあい月間」を設定し、児童アンケートや全員面談を実施、年間を通して「いじめの実態把握・未然防止」に努めています。「いじめをしない・させない小笠原小学校」を合い言葉に、全校で「いじめ」について考える機会をもつことで、どの子どもも毎日、楽しく明るい気持ちで登校できることを目指しています。

平成30年度より道徳が教科化されます。子供たちに、より道徳的な価値について考えを深めてほしいという国の方針の下、父島の子供たちにも道徳の大切さを改めて感じてほしいと思っています。「道徳授業地区公開講座」は、保護者のみなさん、地域の方々に道徳の授業を見ていただける貴重な機会です。島の宝である子供達の豊かな未来のために、一緒に道徳を考える場として、ぜひ来年もお越しいただきますようお願い申し上げます。